

- ・めまい
- ・老人の嗜眠状態：ホメオパシーでもあまり強い効果は期待できません。
- ・アルツハイマー病
- ・抗精神病薬の乱用
- ・意識混濁
- ・ナルコレプシー

#### ■消化器系

- ・胃内空気貯留：ガスが溜まりやすく、食事をすると何でもガスになってしまいます。
- ・鼓腸性消化不良：口の中が乾燥していますが、喉は渴きません。
- ・便秘：便は軟らかいのですが、排出困難です。排便中や排便後に意識が遠のいてしまうことがあります。
- ・乳幼児の夏の下痢
- ・新生児の便秘：疝痛を伴います。
- ・口内乾燥症：口の中が乾燥して、舌が口腔蓋に張りついてしまうことがあります。喉が渇く例もありますが、通常は喉が渇きません。舌の感覚は、麻痺して鈍くなっていることがあります。

#### ■その他

- ・ドライアイ：眼の表面が乾燥しているので、瞼を開けたり、閉じたりするのも大変です。
- ・関節炎：痛みがあちこち動きます。手足のしびれ感を伴うことがあります。
- ・食物アレルギー
- ・乾燥肌

- ・シェーグレン症候群：ドライアイや粘膜の乾燥、唾液腺の変化などが起こります。

#### ■特異的な感覚

酔っているような感覚、足が宙に浮いているような感覚、前頭部が押し出されるような感覚、脳が緩んだような感覚、耳管の中に粗い固まりがあるような痛み、頬に電気ショックが走るようなチクチク刺すような痛み、ベーコンが喉に入っているような感覚、左の肩に鉛が入っているような感覚、腕に紐が巻きつけられているような感覚、腕をつかまれているような感覚、などがあります。

#### MODALITY

- 暖かさ、暖かい部屋、暖かいものに包まること、暖房、温かい食事、外気など
- ❏ 寒さ、湿った寒い気候、冷たい食事、冷風、妊娠、季節の変わり目、感情の起伏、精神的ストレス、月経中、患部を下にして横になること、食事直後など

#### RELATIONS

- ・ Antidoted by : Camphora, Laurocerasus, Gelsemium, Nux vomica, Opium, Zincum, Valeriana
- ・ It antidotes : Arsenicum album, Laurocerasus, Turpentine
- ・ Compatible : Lycopodium, Nux vomica, Pulsatilla, Rhus toxicodendron, Stramonium, Antimonium tartaricum

## Nux vomica マチン [怒りとイライラ、消化不良、仕事好き]

Strychnos nux vomica L.

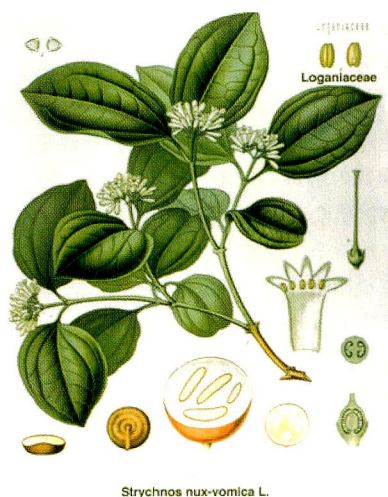
#### BACK GROUND

Nux vomicaは、非常に毒性の強いストリキニーネを含む、Strychnos nux-vomicaの木の種からつくられます。別名poison nut plantとも呼ばれています。インド、ビルマ、マレーシア、タイ、中国、オーストラリア北部などに分布するマチン科の常緑高木で、高さ5～13mに達します。砂質土壌に生育します。主な毒成分であるストリキニーネは、種のほか葉、樹皮にも含まれています。実はリング大の果実で、その中に白いゲル状の果肉とボタン状の種が入っています。

種は、ほぼ円盤状で径10～30mm、厚さ3～5mm、外面は淡灰黄緑色や淡灰褐色を呈していて、中央部から周辺に向かう光沢のある伏毛で密に被われています。両面の周辺および中央部はやや隆起しており、非常に硬いです。無臭で、味はきわめて苦いようです。

種子は、熟果を落ちる前に取り、水に浸して種子を分離します。落果から得た種子は成分が変化しているため、品質が劣るとされています。

11世紀のアラビアで医薬として使用され、中世ヨーロッパでも疫病の治療やネズミの駆除薬として、イ



*Strychnos nux-vomica* L.

ンドでは樹皮をコレラの治療薬として、ネパールでは月経不順や狂犬病、神経麻痺の治療薬として用いられていました。

Nux vomicaの少量摂取では、食欲増進作用や消化促進、利尿作用があり、多量摂取では、呼吸困難、嘔吐、耐えられないほどの不安感から症状が始まります。そして痙攣、ひきつけ、頭部を尻のほうに曲げるテタヌス様発作（これによって背骨が折れることもある）、光や音に対する過敏反応と続きます。さらに呼吸が1, 2分止まるようになり、この頃には痙攣発作が治まってくることもあります（神経系は、初めの極度の過敏興奮状態から、極度の疲労、麻痺状態に変わります）、死ぬまで苦しみます（ストリキニーネは、ほとんどすべての動物に強い毒性がありますが、猫だけは非常に強い抵抗性をもっています。また、カタツムリには無毒です）。

## FIRST PROVING

ハーネマン（1805）

## MIND

Nux vomicaタイプは、仕事一筋人間で、エネルギーに溢れ、競争心や出世欲が強く、野心家です。遊びも仕事同様に激しくやります。わがままで気むずかしく、自分は他人から批判されることに耐えられないくせに、他人のミスを許すことができません。責任感強いのですが、イライラして忍耐がなく、すぐに怒りを爆発させます。規則や規制を遵守することを嫌います。些細な障害に対しても我慢ができません。たとえば、欲しい物が手に入らないと、それが些細な物でもイライラします。行列におとなしく並んでいるタイプではありません。

何でも他人よりうまくできると信じて、実行します。

どんなことでも他人と競争する傾向があります。仕事でも遊びでも、他人に負けることに我慢ができません。ちょっとした遊びでも、必死になって勝ちにいきます。車を運転していて、横の車に抜かされるのさえ我慢できないことがあります。ゲームをしていても、負けると不機嫌になります。どんなことをしていても、時間がもったいないので、急いで行う傾向があります。のんびりとリラックスするということがありません。嫉妬心も強いほうです。

よく胃の調子が悪くなります。刺激の強い物を好む傾向があり、食べ物ではスパイスの強い物や辛い物、脂っこい物などを好み、またコーヒーやアルコール飲料、タバコも好みます（逆に嫌いな場合もあります）。コーヒーや飲酒、冷たい食物などで、胃が痛くなることがあります。

冷感性で寒さに対しては非常に敏感です。仕事での失敗や死を恐れ、人ごみの多い所へも行きたがりません。暗い所も怖がりです。外からの刺激（音、光、匂いなど）に対して過敏です。

Nux vomicaタイプの子供も、イライラして短気です。お腹が弱く、すぐに胃が痛くなります（平滑筋攣縮spasm, crampは、Nux vomicaの特徴の1つです）。競争心が強く、遊びでも勉強でもスポーツでも、誰かと競争する傾向があります。負けず嫌いなので、自分が負けると、怒ったり、投げやりになったりと、ひどいふるまいをします。勉強のミスを両親に指摘されると、かんしゃくを起こすこともあります。親の言うことをしばしば守りません。後片づけも嫌いです。

兄弟姉妹に対する競争心や嫉妬心も強く、また他の子供が自分のもっていない欲しい物をもっていると、何が何でも欲しがります。買ってもらえないと、かんしゃくを起こし暴れることもあります。親、とくに同性の親に対して乱暴な口の利き方をします。きつい洋服や制服を嫌います。

暗闇をとくに怖がり、1人で暗い所に行くことができません（肝試しなどで友人がいる前では、怖がりを隠します）。食事は、味の強い物、スパイシーな物を好みますが、冷たい食事は好きではありません。

## AFFINITY

Nux vomicaは、精神、脳脊髄軸、神経、消化器系（胃、肝臓、腸）、呼吸器系に親和性をもっています。右側優勢レメディです。

## CLINICAL APPLICATIONS

Nux vomicaは、体質レメディのほか神経系（とくに極度の過敏やイライラ感）、消化器系の症状に使わ



れることが多いレメディです。

#### ■神経系

- ・過敏でイライラしやすい：音や匂いに対して過敏になります。よくため息もつきます。
- ・怒りやすい性格：忍耐力がなく、我慢ができません。
- ・神経症：痙攣や反射異常亢進、感覚過敏などの主症状があります。Nux vomicaのストリキニーネ様の症状が反映されています。
- ・不眠症：午前3～4時頃に目が覚めてしまうことがあります。仕事のことを考えていて、再び眠るのがむずかしくなり、明け方には疲れてしまいます。食後や早朝は眠くなります。日中はうたた寝すると気分が良くなります。
- ・頭痛、片頭痛：音や光、太陽の下、生理前などに悪化する傾向があります。発咳やお酒の飲みすぎによることでも起こります。
- ・めまい：めまいは朝と夕食後に起きやすいです。人ごみの中やたくさんの火が燃えている所では、クラクラすることがあります。めまいで一瞬意識が遠のくことがあります。
- ・腰痛、背中の痛み：夜ベッドで悪化します。寝返りを打てないので、起き上がって体位を変える必要があります。発熱中は痛みが悪化します。
- ・神経痛、坐骨神経痛、多発性硬化症
- ・難聴 (Bell., Caust., Hepilyc., Spig., Sulph.)

#### ■消化器系

- ・吐き気、嘔吐、二日酔い、胸やけ：吐き気は嘔吐で楽になります。舌の裏側は、黄白色の舌苔で覆われています。
- ・胃痛、胃痙攣：怒りやきつい服で悪化します。暖めたり、温かい飲物で改善します。
- ・胃炎：仕事一筋です。
- ・肝炎
- ・腹部の疝痛：食後や寒さで悪化します。
- ・消化不良：脂っこい物の食べ過ぎ、アルコール飲物の飲みすぎによります。食べた物が重苦しく胃の中に残っています。コーヒー、冷たい飲食物でも悪化します。それにもかかわらず、飲酒、コーヒー、辛い物、香辛料が大好きです。食べ過ぎるとしゃっくりが出ます。食後は眠たくなります。
- ・便秘：急に便意を催しますが、便が出ません。排便が途中までしか出ていない感覚があるので、排便後に安心感がありません。
- ・下痢：便秘と交互に起こります。下痢は突然始まります。
- ・潰瘍性大腸炎
- ・炎症性腸疾患

- ・クローン病
- ・痒痒性の痔：痛みは、温めたり、排便後に楽になります。
- ・肝機能障害、肝炎、中毒性肝炎、肝硬変
- ・毒物質の解毒：アルコール、タバコ、コーヒー、刺激物、薬などの乱用によるもの。

#### ■泌尿生殖器系

- ・女性生殖器関連の不調：生理不順で、黒い血が多めに出来ます。月経困難症もあります。
- ・月経前症候群
- ・月経困難症
- ・子宮内膜症
- ・膀胱炎：尿は少量頻尿で、温めたり、熱めのお風呂で改善します。
- ・前立腺炎
- ・腎盂腎炎
- ・腎結石
- ・高齢者の尿失禁、尿停滞：膀胱が麻痺して、尿が漏れてしまうことがあります。笑ったり、咳やくしゃみで尿漏れを起こします。

#### ■心呼吸器系

- ・風邪や鼻感冒、インフルエンザ：熱が出ると寒気が強いので、暖める必要があります。体は焼けるように熱くなることがあり、とくに顔が火照ります。
- ・くしゃみ：朝歩くと出ます。
- ・熱性疾患
- ・喘息：満腹のときの胃の異常と関連して起こります。咳によってひどい頭痛が起こることがあります。
- ・狭心症
- ・動悸：精神的に興奮したり、コーヒーで悪化します。
- ・高血圧

#### ■その他

- ・慢性疲労症候群
- ・結合組織炎
- ・筋肉の痙攣
- ・化学物質過敏症

#### MODALITY

- ▶ 暖かさと多湿、休息、夜、うたた寝、患部の強い圧迫、熱い飲物、牛乳、脂物、湿った空気など
- ◀ 寒い風の強い日、触られること、午前3～4時、食べること、辛い物を食べたとき、過度の精神的過労、疲労、騒音、音楽、臭い、早朝、風、怒り、腰を締めつける服、仕事の失敗、ストレスなど

#### RELATIONS

- ・Antidoted by：Wine, Coffe, Aconite, Belladon-

- na, Camphora, Chamomilla, Cocculus Opium, Pulsatilla, Platinum, Stramonium, Thuja
- It antidotes : Narcotic, drastic and vegetable remedies
- Compatible after : Arsenicum album, Ipecacuanha, manganum metallicum, Phosphorus, Sepia, Sulphur

- Compatible before : Bryonia, Pulsatilla, Sulphur
- Incompatible : Zinc

● Strychninum : このレメディは、Nux vomicaやIgnatiaの成分であるストリキニーネが原料です。そのためMINDは、両方の特徴をもっています。主に痙攣を伴う疾患や顎関節機能不全、斜頸などに使用されます。